

春の叙勲(旭日小授章) 山碕英樹さんが受賞

山碕英樹さん(小田)が「春の叙勲」を受賞しました。

山碕さんは、平成13年から平成16年まで赤来町長、平成17年から令和3年まで飯南町長として、通算5期20年に渡り、地方自治の発展向上に大きく貢献されました。

山碕さんは「町民の皆さんや役場職員の方々に支えられたおかげです。感謝しています。これからも、微力ながら飯南町の発展に貢献していきたいです」と話していました。



色とりどりに咲き誇るぼたん

教科書供給功労者表彰

田部容孝さんが受賞

田部容孝さん(野萱)が、文部科学省の教科書供給の円滑な実施の奨励を目的とする「教科書供給功労者表彰」を受賞しました。

田部さんは、小中学校への教科書供給に51年従事し、教科書の供給を通じて、学校教育の発展に寄与。

田部さんは「光栄なこと、うれしく思います。義務教育の教科書は、無償で提供されているからこそ、生徒の皆様さんには、大切にしている気持ちを持ってほしいです」と話していました。



コロナ禍でも華やかに 第47回飯南町ぼたんまつり

5月9日から15日まで、赤名観光ぼたん園でぼたんまつりが開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年に続き飲食ブースや、ステージイベントはなく、ぼたんの鉢植えが販売されました。

今年の新たな取組として、過去のぼたんまつりの様子を展示する「ぼたん園思い出展」や、ぼたんの品種説明等を、気軽に楽しめる「スマホで楽しむAR展」を企画され、多くの来場者で賑わいました。



5.14 新たなルートで新たな楽しみ 地元の山ハイキング

赤名公民館主催の「地元の山ハイキング」が開催されました。

参加したのは、登山が好きな地元住民やガイドなど9人。赤名小学校近くにある、水辺の学校から武名ヶ平山を巡るルートを歩きました。

参加者は「旧スキー場のリフトが見える場所や、眺望が良い所もあり、地元の新山に楽しみが触れられました」と話していました。

今回のルートは、衣掛山周辺の整備をしておられる、門脇勝二さんが新たに整備されたルートです。



旧スキー場のリフトの下で

5.15 赤名FCサッカー教室

赤名FCサッカー教室

デイトッサ出雲FCが赤名FCを対象にサッカー教室を開催しました。デイトッサ出雲FCは、出雲市を拠点に、なでしこリーグ昇格を目指す女子サッカーチームです。

当日は赤名FC17人、デイトッサ出雲FC25人が参加。選手が考案した練習メニューやミニゲームを行いました。赤名FCキャプテンの吉川嗣道さんは「ミニゲームをしてみても強かった。ドリブルやパスの正確さに驚きました」と話しました。



地域貢献や知名度アップのため、県内の子どもたちにサッカー教室を開催

5.21 子ども中心の学びの場 わらべの学校

今年度も志々公民館の恒例行事「わらべの学校」が始まりました。

今回、子どもたちは、マッチを使った火おこしを体験し、おこした火が大きくなつていく様子を、興味津々に眺めていました。火おこし後は、さつき会館横の畑で、サツマイモの苗を植え付けてから、おこした火で、パンを焼きました。

「わらべの学校」は平成8年度から開催。志々地区を舞台に、通学合宿など、さまざまな活動を行っています。



はじめての火おこしに悪戦苦闘

5.15 おいしいお米になりますように カモしやん入田式

アイガモ農法で米を生産する「うやま農園」で、カモのひなの「入田式」が開催されました。

参加したのは、町内外の子どもとその保護者など26人。アイガモを鳥獣から守るためのナイロン製のヒモを、田んぼに設置した後、約80羽のカモのひなを田んぼに放しました。

入田式後には、宇山智明さんの古民家で、アイガモ農法で育てた「カモしやん米」の卵かけご飯が振る舞われました。このイベントはうやま農園のある、小才田地区の住民が主催。



アイガモが田んぼの雑草や害虫を駆除します

5.29 親子でふれあい、学び 人権紙芝居公演+α

「楽しく人権を学ぼう」をキャッチフレーズに、谷笑楽校で「人権紙芝居公演+α」が開催されました。

松江市在住の紙芝居作家のよしとさんが、「人権」って何だろう?をテーマに紙芝居を披露。参加者は唄ったり、踊ったり、親子でふれあいがら人権を学びました。町立中央図書館による移動図書館では、人権に関する図書を紹介や貸出も行われました。

この公演は、人権・同和教育の一環で谷公民館が主催。



当日は25組の親子が楽しく人権を学びました